

- ◆企画名 京都伏見フィールドワークツアー
 日程 平成27年1月30日(金)
 場所 月桂冠大倉記念館、伏見稲荷大社、駿河屋伏見稲荷店
 参加者数 25名(ピア・サポータ5名、研修生2名、一般学生18名)
 目的

本企画は、フィールドワークを通して交流の場を提供すること、日本の伝統文化に触れる機会を関大生に提供することの二点を目的として、京都・伏見周辺を散策するツアーを実施した。またこのツアーを通して、学生間のより活発な交流活動を目指すとともに、座学ではなく自身の五感で文化体験をすることで、京都・伏見の歴史、日本文化の奥深さ、日本の「ものづくり」について知識を深めることに繋げた。

内 容

- 12:30 千里山キャンパス総合図書館前 集合
 13:00~14:00 出発、移動
 14:00~14:40 月桂冠大倉記念館見学、試飲
 14:40~15:10 移動
 15:10~16:00 駿河屋伏見稲荷店にて和菓子作り体験
 16:00~17:00 伏見稲荷(散策)
 17:00~18:00 移動(千里山キャンパス総合図書館前 解散)
-) 和菓子作り定員の関係で
2グループ交代で進行

効 果

- ・参加者感想アンケートより「とても楽しかった。」「初めての方と交流できて良かった。」「これといって関西観光をしたことがなかったのでとてもいい機会だった。」という回答を得ることができた。
- ・KUSPメンバーが積極的に参加者とコミュニケーションを取っていた。
- ・ニーズに沿った企画ができた(テスト後という日程、京都という場所設定)。
- ・和菓子の手作り体験の選択がよかった(情報収集がうまくできていた)。

改 善 点

- ・月桂冠のガイドさんに見学時間を伝えていなかったため、時間が押してしまった。
- ・見学各所の予約をKUSPがするのか旅行会社に手配していただくのかどちらかに統一すべきだった。
- ・キャンセルが出た際の対応が不十分だった(友達との参加ではなく一人での参加者への対応の改善が必要だった)。
- ・KUSPメンバー全員の役割分担をしっかりとしておくべきだった。
- ・発案の際、目的がぶれていた(目的から場所を決めるべき)。
- ・参加者同士のコミュニケーションがあまり取れていなかった。
- ・一度KUSPメンバーが下見に行くべきだった。
- ・急ぎ足だったので、もう少し各所でゆっくりしたかった。
- ・最初に参加者の自己紹介の場があればよかった。
- ・関大生の誘導が足りていなかった。回りの方への配慮が必要だった。

感 想

京都の歴史を学び、日本の伝統文化にふれる機会を関大生に提供するという目的に沿った企画を行うことができた。また、関大生同士の新たな交流の機会を提供することもでき、参加者の満足度の高い企画を行うことができた。個人ではなく、団体でなければなかなか行くことのできない場所、体験することのないことなどを盛り込み、今後もフィールドワークを企画していきたい。